

# 春山合宿ヒマラヤ行動報告

易所：ネパール クーンブ山域（アイランドピーク、カラパタール、ゴーキョ）  
期日：成田発2月18日（日）～成田着4月4日（木）  
登山期間：ルクラ発3月1日～カトマンズ着3月25日  
メンバー：菊谷、田端、野本、家口

3 / 1日（木） 曇り ルクラ～パグディン

カトマンズ10:10 →ルクラ10:50 / 発15:00 ～パグディン着18:00

待つこと6日。ついにルクラへ飛行機が飛んだ。メンルンツェを横目に大揺れに揺られてルクラの坂道飛行場に降りた。ルクラでTHTに頼まれた荷物が何者かに盗まれる等の事件があったが、酸素のシリンダーを手に入れた後、ヤクに荷物を積み、トレッキング出発。明治の大川君と明学の山本君のICCの二人と一緒に登山隊のようになり、無事パグディンに到着する。

3 / 2日（金） 曇り パグディン～ナムチェ

パグディン発8:20～レンジョ11:45/12:30 ～ナムチェ着15:00

朝、雨対策をもう一度万全にし、1時間くらいかかる朝食を終え、先に出発したヤクを追っかける。前日は雨が降っていたが、道はしっかりしている。上高地から横尾のような道だ。二度ほど吊橋を渡り、レンジョで昼食を食べる。そこからナムチェまでずっと登りで途中でエベレストの見える小屋があったが霧がかかっていた。ナムチェでは村長さんの経営するロッジで世話になる。

3 / 3日（土） 晴れ ナムチェ滞在

今日一日で買い出しと高度順化を行なう。酸素のシリンダーを購入し、装備を揃えた後に、エベレストビューホテルへ順化行動に行く。途中博物館によった後、雪の残るドロドロの道を登る。道を間違えて手前の丘を登ってしまうことなどあったが、素晴らしい展望が望めた。夜は、順化行動の影響からか、頭痛を訴えるものもある。後から高度の影響がでるといふのは本当であった。

3 / 4日（日） 晴れ ナムチェ～タンボチェ

ナムチェ発9:10～ブンキ12:00/1:10～タンボチェ3:10

エベレストビューのあるクムデの丘を巻き、穏やかな景色を楽しみながら歩く。昼食を食べたブンキからは急な登りで息がきれる。タンボチェの寺院は焼けてしまったそうだが、加藤保男らの碑は立派に残っていた。

3 / 5 日 (月) 晴れ タンボチェ～ディンボチェ

タンボチェ発8:50～パンボチェ10:20/12:50 ～ディンボチェ着14:50

まだ雪の残るところが多く時々滑る。マニ石の列の左側を通ってしばらく行くとイエティの頭皮と手の皮があるというパンボチェの寺院に着く。そこで昼の休憩をとった後、右にアマダブラムを見ながら歩き始める。二股の川の橋を渡って平らな所に出ると、プモリやロブジェが見え始める。早く着いたためディンボチェの裏の丘を登って順化する。

3 / 6 日 (火) 晴れ→曇 ディンボチェ滞在

ディンボチェ発9:30～ポカルデ東の丘12:10 ～着13:10

今日は、順応日ということでポカルデの東の丘に登った。5280mの丘でさすがに疲れる。150mほど登ったところで田端が頭痛を訴えたので降ろさせる。頂上からポカルデまではとても遠く見えた。

3 / 7 日 (水) 晴れ ディンボチェ～チュクン

ディンボチェ発10:05 ～チュクン12:45

今日の行程は短く、ゆっくりできた。菊谷、家口はローツェ南壁下部100mくらいを登る。チュクンはアマダブラムがよく見える。

3 / 8 日 (木) 晴れ チュクン～BC

チュクン発9:40～BC着1:20

今日でBC(5016m)に入った。本当なら5100m付近に張る予定であったが、水が得られぬとのことでBCの位置を下げてしまった。また、ここでは食天を作るための石が少ないため、ゴアツェルト1つを食料テントとし、1つを器具テントとする。サーダーは我々と一緒にテントで寝ることとなり狭くなってしまった。ヤクは5日後に来る約束し、降りていった。今日の行動も長いものではなかったが、非常に疲れる。

3 / 9 日 (金) 晴れ BC～5400m～BC

BC発8:45～5400m12:30～BC着13:30

今日の予定は休養日であったが、BC整理は特にすることもないため、荷上げをすることにした。本来のBCの位置までは平坦な道である。そのパレシヤヤギャブからは踏み跡づたいに登っていく。あわよくばACまでと考えていたが、5400m付近で見上げたルンゼに恐れをなして左側にあるキャンプの跡地に荷物をデポしてしまった。15分に一度の割合で休んでいる。夕方から雪がチラついていた。

3 / 10 日 (土) 晴れ BC～AC～BC

BC 発7:40～取りつきパレシヤヤギャブ8:20～5400m デポ地9:40～AC 13:50/14:30  
～BC 着15:50

昨日よりだいが体が楽になつてきている。特に2年3人は順化うまくいっているよで  
ある。前日のデポ地で酸素の1ルンゼをトラバースするに、2年3人は順化うまくいっているよで  
あていく。ちよど屏風の狭いリッジの右側である。ACは5800mほどのところ、氷河の取り付きのほんの手前である。あまり良い場  
ら右側に大きき見え狭いリッジの右側である。ACは5800mほどのところ、氷河の取り付きのほんの手前である。あまり良い場  
一本のこでいきづまじでである。ACは5800mほどのところ、氷河の取り付きのほんの手前である。あまり良い場  
度そのようなかまじでである。ACは5800mほどのところ、氷河の取り付きのほんの手前である。あまり良い場  
むかのようなかまじでである。ACは5800mほどのところ、氷河の取り付きのほんの手前である。あまり良い場  
所とはいえない。ツエルトにぐるんで装備と食料をデポして引き返す。下る時に水の  
ない場所にテントを張ったイギリス人が多数で来ていた。

3 / 1 1 (日) 晴れのち曇り BC～AC

BC 発8:30～AC 12:45

前日より、より楽になつてきている。朝もゆつくり出発したため行動にも余裕が  
あなつて破れてしまつた。食料が散らばつて大変である。昨日の出発したため行動にも余裕が  
が食料がなくなつてしまつた。食料が散らばつて大変である。昨日の出発したため行動にも余裕が  
ACは狭い棚のところで、板状の岩をしきつめテントを張れるように整地する。  
次ぎにテントを張るときは魔化して内張りをはいた後、家口と菊谷のよう  
呆然と小くさなクレバスに会つた。ルートは、ルートの子を教へてもらう。  
途中でICCの二人は、ルートの子を教へてもらう。  
その夜は寒く眠れぬ夜を過ごす。しかし夕焼けに浮かぶマカルーは素晴らしかつた。

3 / 1 2 (月) 雪 アイランドピーク登頂

AC 発7:50～雪壁下部9:00/10:00～頂上12:30 / 12:50～AC 着14:40 / 15:50～  
BC 着18:45

朝起きてもう1日が、ッジの結ぶ初に、斜な見、唯内  
この場所には、最リッジの結ぶ初に、斜な見、唯内  
よくつけず、最リッジの結ぶ初に、斜な見、唯内  
ティで行なう。最リッジの結ぶ初に、斜な見、唯内  
過る事なところ、晴れが横たわ、ル  
深いクレバスを登つた後、ル  
どの氷を登つた後、ル

ッチ150mほどで、下部2ピッチは菊谷・野本でF i xする。上部1ピッチは急な  
 斜面で、田端・家が口が登り切った後、風が強くなり雪が上り視界が悪くなる。待  
 っている間、いぶき刺しなツエを慎重に進む。た見えない。あそこが頂上だ。などと何  
 、ピッケルを突いた後、突然口を閉じて写真を取り。20分ほど頂上からはスノーピーク  
 かだまをさした。旗の向きを確かめ、ACの回収を済ませ、ト谷の回復に深く満足  
 たら吹く強風のため、緊張を解け、ACの回収が困難な問題はなかった。暗くなってしま  
 菊谷が下の位置は先アイスキタと自分のしたとどに深い満足を感  
 田端家がアイスキタと自分のしたとどに深い満足を感  
 行跡をつけてから自分たのものを作  
 吸、ゆっくるとしたとどに深い満足を感  
 きはほっとしたとどに深い満足を感  
 その夜はサーダーの作

3 / 1 3 (火) 晴れ BC～チュクン～ディンボチェ

BC発12:30～チュクン14:00/15:00～ディンボチェ着17:50

今日はゆっくり休養と思っていたが、14:00にくるはずのヤクが11:30には参上。急いでBCをたたみ、出発する。チュクンでサーダーとヤクを待った後、ディンボチェへ向かう。

3 / 1 4 (水) 晴れ ディンボチェ～ロブチェ

ディンボチェ発9:30～ツクラ11:20/11:45～ロブチェ着14:00

ペリチェの上の広い大地を通過してロブチェへ向かう。左手にはタボチェとチョラチェが大きく見える。途中でヤクが死にそうになってしまい、大変であった。

3 / 1 5 (木) 晴れ ロブチェ～ゴラクシェップ

ロブチェ発11:40～ゴラクシェップ着13:30

今日カラパターール登頂の予定であったが、疲れていたため明日登頂することにした。そのため、食料などの残りを村の人に売ることになった。あまり高く売れずがっかりする。

3 / 1 6 (金) 晴れ カラパターール登頂～ロブチェ～パンボチェ

ゴラクシェップ発5:55～カラパターールPEAK7:20/40～ロブジェ11:30/11:45～パンボチェ着15:45

久しぶりの早起き行動で、頭がパツとしない。しかも、朝食前の登頂ということで

、腹が減ってしょうがない。非常に冷える中をしばらく歩いていくと、突然まわりが明るくなり、エベレストとヌプツェの間から朝日がさしてきた。カラパタールとはいえ5450m。さすがに多くの人が訪れるだけはあって、エベレストこそ逆光であったが、プモリは最高だった。

3 / 17 (土) 晴れ パンボチェ～ナラ

パンボチェ発8:30～ドーレ13:15/13:35 ～ナラ着15:20

今日の朝出発してきたパンボチェのバッチイはよかった。新しい小屋であって眠りも深かったようだが、今日のこのナラでは我々はヤクの寝床で寝ることになった。今日の行程は長いということなので、8:00には出発できるように7:00飯ということで頼んでおいた。

今日からはヤクと別れ、サーダーのみとゴーキョ行きである。ポルツェまでは陽のあたる、川の右岸を巻いていく。ポルツェでは休まず、トーレまで行く。途中はレーションですませる。トーレからは長い下りである。

3 / 18 (日) 晴れ ナラ～ゴーキョ

ナラ9:05～ゴーキョ11:50

今日で日本をたつてから一カ月となる。朝はゆっくりと出発した。左に氷河湖を見ながらのんびり自分たちのペースで歩く。沢筋を抜けると二つの湖があらわれ、絶景のコースである。ゴーキョは案外広い町である。

3 / 19 (月) 晴れ ゴーキョピーク登頂～ゴーキョ～ドーレ

ゴーキョ発6:30～ゴーキョピーク着8:00/8:40 ～ゴーキョ着9:30/10:15～ドーレ着

5480m ゴーキョ登らずしてゴーキョ語れずである。最高の景色でびっくりする。チョーオユー、ギャチュンカン、ゴジュンバカン、チョモランマ、そのノースコル、ゴジュンバ氷河と有名どころが目白押しである。菊谷とサーダーが咳がひどく消耗している。下りは早かったが、ゴーキョでついついのんびりしてしまった。ゴーキョからドーレへの道は、雪が解けてドロドロである。菊谷は登りではひどくつらい状態である。

3 / 20 (火) 晴れ ドーレ～ナムチェ

ドーレ発8:00～エベレストビュー11:05/13:00 ～ナムチェ14:00

懐かしのアンプルバ村長の宿に到着。もうすでに雪が解けている。ドーレからの道は対岸から見たように急な登りがでてきて菊谷は遅れ気味である。峠で休んで、クムジュンにむかう。クムジュンからはエベレストビューに向かいそこで昼飯休憩をとる。ナムチェに着くとICCの二人にあう。

3 / 21 (水) 晴れ ナムチェ休養

今日は一日休養として、装備を売ったり、両替したりで過ごす。久しぶりのシャワーを浴びたり、うまいものを食べたりして疲れをいやすことができた。

3 / 2 2 (木) 曇りのち雨 ナムチェ〜ルクラ

ナムチェ発7:35〜パグディン12:08/13:10 ~ルクラ15:00

ナムチェをたち、ついにルクラに着く。着いた瞬間から急に雨が降ってくる。夕方には、あすの欠航が決まる。

3 / 2 3 (金) 雨強 ルクラ滞在

今日はチェスやらトランプやらをやって長い一日を過ごす。

3 / 2 4 (土) 曇り ルクラ滞在

朝起きてみると窓の外は雪景色である。昨晩は雷まで鳴っていた。不貞腐れて寝ようとする、サーダーが今日は飛ぶかもしれないと言う。準備して待っていると、山と山との谷間からツインオッターが見えはじめる。しかし、一番機が乗客を乗せて飛びたった後、二番機は我々の前に姿を見せる事無かった。その後は全員お茶を飲んで食うだけの無気力人間と化してしまった。

3 / 2 5 (日) 晴れ ルクラ〜カトマンズ

朝7時に飯を食って、急いで出発の準備をする。9:30頃には飛行機も現われ、全員の拍手とともに長いルクラ生活に終止符を打った。と同時にトレッキングの終了に深い満足を得た。帰りはサーダーの故郷の真上を通る。

一月足らずの間に、6169mのアイランドピークと、5450mのカラパタールと、5480mのゴーキョピークに登ってきたわけだが、この経験が次ぎなる山へとつながっていくと良いと思う。

